

## 総務常任委員会①のテーブルにおける参加者の主な意見等

番号	内容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常の移動手段として、徒歩、自転車、公共交通機関を利用しているが、金沢市街地に居住しているので、自動車を使わなくとも不便はない。</li> <li>・ しかし、市街地は道幅が狭く、車道を走ると危険を感じる。</li> <li>・ 金沢市では、自転車専用通行帯、自転車走行指導帯など、自転車通行空間整備が進められているが、金沢駅～武蔵が辻～香林坊～片町といったメイン道路は、今後、整備であったり、通行環境改善検討区間となっていて、将来の見通しが不明である。</li> <li>・ 観光客が急増している中、金沢市まちなか区域において、自動車、自転車、歩行者がどのように共存していくのか。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝の通勤時間帯は、有松から片町まで1人乗りの車がずっと連なっている。新交通システムよりピストン方式でこの間をバスで往復すれば渋滞解消になると思うので、バス会社を支援してバスの本数を増やせないかと思う。</li> <li>・ 中心部ばかり「まちなか」があり、南部は不便である。</li> <li>・ 市体育館、市民病院、小立野方面の病院等に行くのに困っている。</li> <li>・ 高齢者が望んでいるのは、ドアツードアである。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成29年5月に市議会自民会派が、市内のまちなか交通に次世代型路面電車システム（LRT）の導入を目指すと言われて2年半が経過した。この間、検討会をしたような新聞記事を拝見したが、具体的にはどうなのか。類似都市として宇都宮があり、富山は来春にもライトレールとの南北接続も確実視されている。</li> <li>・ LRTには賛成だが、金沢の場合、道路事情など厳しい事情もあるため、現実的に難しいのではないか。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新交通システムの検討が言われて久しいが、本来、新幹線開通までに解決すべき、金沢駅、香林坊間がネックである。今の道路状態では、解決不可能である。</li> <li>・ 地下道を電気バス（無人）が唯一の解決策である。費用が多額になるのは当然、市だけではなく、国・県と共同で災害シェルター、共同溝等を考え得る活用策とあわせて設置すべきである。</li> <li>・ 乗りかえ割引を充実するべきである。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ LRTの建設には反対</li> <li>・ 一部の地域の人だけしか利用せず、材木地区住民は利用しない。</li> <li>・ 観光客も利用しない</li> <li>・ 街なかの上空に電線が張り巡らされると、景観にも悪い</li> <li>・ 道路上を電車が走ることにおける安全性の確保も難しい</li> <li>・ 柵などを設置して独立した路線をつくることも考えられるが、金沢は道が狭い。</li> <li>・ 財源はどうするのか。借金してまでつくる意味があるのか。</li> <li>・ ドアツードアが良いので、乗合いタクシーやシェアカーを充実させるべきである。</li> <li>・ 乗りかえすると料金が高くなるのは経済的にづらい</li> <li>・ 福岡の西鉄バスのように、同じ目的地なら乗りかえしても料金が一緒なシステムを参考にすべきである</li> </ul>

6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の利用促進や活性化は、少子高齢化対策、地球温暖化対策、持続可能な社会実現のために重要な政策課題である。また、公共交通は、交通弱者救済の面以外に、産業振興、経済成長、都市戦略といった政策面からの視点からも検討していかなければならない。特に石川県は、沖縄県に次いで鉄道路線距離が短い地域と言われ、鉄軌道インフラの不十分さは否定できない。</li> <li>・例えば、金沢周辺の鉄道路線であるIRいしかわ（北陸本線）、北鉄石川線、浅野川線は、いずれも金沢の都心部へ直接乗り入れしておらず、本来の能力を発揮できていない。それら路線をLRTなどの鉄軌道インフラ整備により香林坊や武蔵など都心部へ乗り入れさせる発想と行動力が求められる。</li> <li>・また、小松空港やJAIST、石川サイエンスパークなど主要拠点を結びつける金沢都市圏の総合的な交通システム、交通インフラを構築していく必要がある。</li> <li>・車やバスの拡充だけでは、とても対応できるものではない。</li> <li>・金沢は、公共交通の新規路線建設などインフラ整備にはあまりにも消極的であり、県庁所在地の中で繁華街に駅がないのは金沢だけである。</li> <li>・公共交通システムという極めて公共性の高い分野には、行政面、財政面で、大胆かつ積極的に予算を投入すべきであり、それに見合ったリターンがあるのであれば、投資する意味がある。</li> <li>・新しい時代にふさわしい公共事業が必要で、特に地球温暖化など環境問題を解決させる「金沢版グリーンニューディール」を推進すべきと考える。</li> <li>・ビジネスマンの視点から、定時性は重要であり、バスでは確保困難。</li> <li>・LRTの停車駅は、歩道側につくることで安全性を確保できる。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山環状のバス交通整備が必要</li> <li>・田上や杜の里の生徒が、附属高、泉丘高、二水高に行くのに、香林坊経由は時間がかかりすぎる。</li> <li>・渋滞は人口減少が解決してくれるのではないか。</li> <li>・金沢市が北陸鉄道の株主になり、発言力をつけることも必要ではないか。</li> </ul>

総務常任委員会②のテーブルにおける参加者の主な意見等

番号	内容
1	<p>○テレビ局の開局について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私が伊豆に旅行に行ったとき、ホテルの部屋のTVを見ると「TVKTV」テレビ神奈川、「TX」テレビ東京が見ることができ、やはり静岡は大観光都市であると思った。</li> <li>・そこで、やはり金沢も「TX」を同時ネットで見ることができなくては、東京からの観光客に対して「おもてなし」心に劣ると推察した。</li> <li>・観光都市として発展していくため、是非、金沢に民放第5局、テレビ東京系の開局を嘆願する。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税金の使い方</li> <li>・法定外目的税について</li> <li>・金沢で消費してもらうシステムづくりに取り組んでほしい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に市議会の本会議や委員会を傍聴したり、陳情や請願をしたこともあるが、全般的に調査された形跡が見られず、また、建設的な議論には至っておらず、市民は希望を持ってないでいる。</li> <li>・それらが陳情や請願の採択率や市議会議員選挙の投票率に露わになっている。</li> <li>・請願、陳情について意見を述べる場を設けてほしい。</li> <li>・このままでは、未来の金沢に希望を持たず、まちづくりに期待できない。</li> <li>・議員や議会は、より市民の意見を聞き、それを基に実態を調べて、与野党の壁をなくし議員間で活発な議論をし、本来のあるべき姿に変えられないものか。</li> </ul>
4	<p>○宿泊税を絡めた来沢政策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金沢市では宿泊施設が急増しているが宿泊客数は頭打ちの状態である。したがって、営業している各宿泊施設の稼働率の低下に歯止めがきかない。</li> <li>・これまでの金沢市の施策を継続すれば向上なのか、それとも見直しが必要なのか、議員の皆様の見識も聞きながら、限られた財源の使い道にメリハリをつけていただきたい。</li> <li>・仕事で来る客を増やそうと思ったら、宿泊税の非課税枠を設けるべきである。</li> <li>・宿泊税は子育ての事業に多くを充てても良いと思う。</li> <li>・観光客も商用客も双方がより満足度の高くなる金沢滞在になる私案を述べる。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各メディアで報じられているように、宿泊客数はピークを過ぎ、すでに減少傾向にある。今年の春以降平日の価格破壊が始まっている。平日は商用客が多く、なぜ、稼働率が低下したか私案を述べる。</li> <li>2. 新幹線開業で石川県の温泉郷は金沢市のホテルと同じように週末は繁盛している。平日は開業前と比べると少々増えている状況である。金沢市においてホテル建設は今も続いており、政策金融公庫がレポートで示したとおりに稼働率が低下しており、新規開業したホテルは平日の客入りの悪さに苦心している。当然、既存のホテルも例外ではなく平日の客入りは減少している。平日の客入りをどうすれば回復できるか、私案を述べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・有用な観光施設への進化 (芸妓に追銭ではなく披露会で稼ぐ機会を与えて補助金ではなく成果報酬に改める、何でもありの施設改修補助金ではなく個性的な宿にするための協賛金など具体的に2～3点)</li> <li>・税に頼らない観光振興への改善 (金沢21世紀美術館など市営文化関連施設の適正価格への値上げ、行政が主導しなくても良いものは民間のサポート役に徹するなどイメージ論)</li> <li>・宿泊事業者の不安除去 (北陸新幹線不通時の県と市の対応の違い、県外大手事業者優遇の改善など、主に市長や行政への注文)</li> <li>・金沢市は昔から北陸三県の中心だったが、宿泊数は落ち込み、富山、福井は伸びている。新幹線が福井まで開通すれば金沢市の落ち込みは今以上になるかも知れない。そのようにならないために私案を述べる。</li> </ul> </li> </ol>

5	<ol style="list-style-type: none"><li>1. H26年の「金沢市議会基本条例」によりスタートした金沢市議会意見交換会は、金沢市政の「二元制度」を意義あるものにする目的だったと思うが、「竜頭蛇尾」の感がする。市長をチェックする任務がある議員も市民から選ばれているので、しっかりとやり合っていくべきである。</li><li>2. 山野氏が市長になり、H23年に条例まで制定した「金沢市長多選反対」でいう連続3期目に入っている。この間の「山野市政」を市議会はどう評価しているのか。このテーマこそ「二元政ガチンコ勝負」のテーマだと考える。</li></ol>
---	---

経済環境常任委員会のテーブルにおける参加者の主な意見等

番号	内容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクルについて、資源化は進んでいるのか。</li> <li>・気候変動による豪雨への対策はどのようなものがあるのか。</li> <li>・新たな観光資源の発掘等が必要である。例えば、石川県での漁獲が多いふぐや、今は余りないがうなぎの養殖を新たに行うことなどが考えられる。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ袋の有料化が始まって1年9ヶ月が経過したが、ゴミの資源化は進んでいるのか。</li> <li>・雑紙袋が廃止されるとのこと、一年ポッキリで実施したりやめるのは、見通しが悪いのではないか。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今や世界的に喫緊した地球環境問題である地球温暖化・気候変動問題は問題の性質上、世界的な合意はもちろん、国で足並みを揃えずには効果的に取り組むことが難しいのが現状だが、金沢市及び金沢市議会はこの問題をどう感じ、どのように考えているのか。</li> <li>・温室効果ガス削減のための家庭用ソーラーパネルの設置を促進するため、日照量に関するデータを市が持ってはどうか。</li> <li>・温室効果ガス削減のためには、一人一人の心がけが大事である。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsや温室効果ガスの削減に向けた取り組みについて、金沢市が先手を打っていくことが大事である。</li> <li>・温室効果ガスの削減のため、家庭用ソーラーパネルの設置に補助をしてはどうか。</li> <li>・免許を返納しても住みやすいまちにしてほしい。また、そのためにバスをふやした場合には、電気自動車のバスを導入するなど、環境に配慮したものとしてほしい。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・香害及び化学物質過敏症について、規制がないことに問題がある。特に保育園や学校など、子どもたちへの対策が必要であり、市としてその啓発に取り組んでほしい。</li> <li>・観光客をふやすためには英語力を伸ばす必要がある。英語力があれば、金沢にしながら、世界中のさまざまなオンラインワークを受けることができる。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害者に対する助成を、身体障害者や知的障害者のように拡充してほしい。</li> <li>・精神障害者が結婚できるような環境づくりをしてほしい。</li> <li>・精神障害者同士の虐待があるので、市から事業者へ指導してほしい。</li> </ul>

建設企業常任委員会のテーブルにおける参加者の主な意見等

番号	内容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道のでこぼこを直してほしい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路拡張を妨げる家と空き家の交換</li> <li>・積雪時に消雪装置水が止まっているものがあった。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路愛称名は最近新設されていないように思う。以前決めた愛称名にルールがなく、マチマチだと思う。</li> <li>・広坂付近は観光客が多いが、夜のバス停は暗い。また、金沢21世紀美術館側のバス停で屋根のない場所があるので屋根を整備してはどうか。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路除雪にもっと予算を充ててほしい。</li> <li>・水道民営化は反対である。毎日の生活に欠かせない大切な水を安心して飲むことができ、負担増は行わないようにしてほしい。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路について、繰り返し舗装改修の要望をしているが、道路舗装の必要性を認め、観光地でもあり優先度は高いと言うだけで、年度を超え1年以上放置されているので迅速に対応してほしい。接続道路はいつのまにか舗装し直されている。</li> <li>・下水道工事後、舗装修復に雑な部分があることを指摘したものの、現場確認や企業局への連絡がなされていなかった。</li> <li>・市方針として省エネルギーの推進をうたいながら、市管理街灯のLED化は遅々として進まない。市管理街灯は暗く、観光客やレンタサイクルの利用者の増加、高齢者の増加、犯罪抑止の観点からも関係局とも連携して推進すべき。</li> <li>・長町武家屋敷跡は観光地として一度見たら十分である。もっと、観光資源として有効に活用してほしい。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・眺望景観条例に関して、観光と住民の安全について</li> <li>・洪水時の浅野川大橋の状況と水害対策</li> <li>・治水に関する専門委員会設置について</li> <li>・尾張町の惣構堀跡は江戸時代の雰囲気が出ていない。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種子法廃止の条例制定を県に求めてほしい。</li> <li>・水道民営化は反対である。</li> <li>・中国人の土地の買い占め</li> </ul>